誌上学習会　1月号　　自宅学習のすすめ　　30

　　「日本語をそのまま手話に置き換えても通じない。どう手話表現したらよいの？」

12月号に続き、例文を通して日常のおもわぬ「ずれ」に気づき、正しく伝わる表現を学びます。

動画は、①「ずれ」のある会話、②「ずれ」の理由を解説、③「ずれ」のない会話の3つで1セットです。

＊NMMまたはNM( **N**on **M**anual **M**arker)とは、手話表現で使われる手指以外の動きのことです。

顔の表情(眉、まぶた、視線、口型)、頭や顎の動き、体の傾きなどがあります。

例文　4　「どうやって」　　　Aさん（聴者）　　Bさん（ろう者）

A： どうやって来た？

B：家を出て、歩いて、バスに乗って、降りて、まずまっすぐ歩く。そして右に曲がって、

まっすぐ、次は左に曲がって、坂を上ってセンターに来たよ。

A： ・・・わかった。　？？？　（ひとり言）　バスか車か聞きたかっただけなんだけど・・・

☆解説　　動画①のAさんの表現は「何 / 方法？」

Bさんは、方法を具体的に答えなければと受けとめ、家を出てからセンターまでの

道のりを事細かに説明したのです。

　　　　　　　　　「方法 /　何？」 という表現もありますが、質問が漠然としています。

　　　　　　　　　知りたいことが「バスか？車か？」の場合はどのように手話表現したらスムースな

会話になるのでしょうか。

💡ポイント　シャドウイング練習（動画③）をして、意味にあった手話表現を身につけていきましょう。

例文3動画②の解説者の顔の表情や上体の使い方もシャドウイング練習をしましょう。